27　かけがわ粟ヶ岳山麓農泊推進協議会　　静岡県掛川市

農泊、多様な分野との連携、関係人口の創出

お茶と共に暮らす文化、営みを未来に繋げていく

活動の経緯

県内屈指のお茶の産地だが、消費者ニーズの変化等により産出額はピーク時から半減し、未来への継承が不安視される中、2020年6月に、当地のシンボル粟ヶ岳山頂に観光拠点がオープンしたことで登山客は3倍以上に増加。そこで交流人口、関係人口の拡大による地域活性化を目指し活動を開始。

活動の概要

農家民宿、旅館業者、農業者等が連携して、「お茶」を中心とした地域活性化に取り組む。

茶草場農法のモニター体験

ロゲイニングで製茶工場のお茶を飲み比べ

活動の成果、主な実績等

〇人と自然が共生する茶栽培「茶草場農法」による上質なお茶づくりと、お茶に寄り添う暮らしを地域資源としてとらえ、従来からの個人客のほか、教育旅行団体や企業研修向け団体プログラムを商品化。受入れが増加するとともに、地域の理解と協力が広がる。
〇「茶草場農法」によって整備された自然環境と万葉の時代から続く歴史街道の東海道を、「お茶」で広域に繋ぐ「茶の道ロングトレイル」として商品化。また、団体向けには、ロゲイニングフィールドとしての活用を目指し、地域住民や茶業関係者の理解と協力を得て受入れ体制を構築、将来的にチームビルディングプログラムとする。